

H25.12.28

ノロウイルスによる胃腸炎



長尾和宏（ながお・かずひろ） 東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療総合診療を目指す。医学博士。「平穀死・10の条件」「胃ろう」という選択、しない選択」はいざれもベストセラー。関西国際大学客員教授。55歳。

Dr.
和の町医者日記

「ウイルス」シリーズ③

いよいよ年の瀬ですね。「吐き下し」をするウイルス性の胃腸炎が流行しています。インフルエンザよりも患者さんがずっと多いです。おそらく多くはノロウイルス感染であると思われます。

ノロウイルスは1972年の第12回国際ウイルス学会で現在のノロウイルスに改名さ

れました。

ノロウイルスは、たった10

～100個のウイルスで感染が成立するほど感染力が強く、増殖も早い。低温や高温にも強く、しぶといウイルスです。下痢便や吐物のなかに大量にいるウイルスが手に付着し、口から入って人から人への感染が成立します。潜伏

手洗い励行で集団感染を予防

私はよく「2食抜いて、スポーツドリンクだけちびちび飲んでね」と指示しますが、たいてい2～3日で自然に治ります。ただ、脱水に陥りやすい小児や高齢者は注意が必要です。よく老人施設での集団感染が報道されるのは、胃ろうをしている高齢者が嘔吐し、それを誤嚥して窒息したり、肺炎を起こしたりするケースが大半です。ふだん元気な人ならそんなに心配するこ

期間は1～2日で、軽度の発熱を伴うことが多いです。冬に嘔吐、下痢、腹痛を訴えて受診される人はたいていノロウイルス感染ですが、現場では感染性胃腸炎や急性腸炎として扱われます。ノロウ

イルスによる感染性胃腸炎には特効薬もワクチンもなく、



ノロウイルス迅速診断キット便中の「ノロウイルス抗原」を検出する検査キット。3歳未満、65歳以上、抗がん剤治療中などの人には健康保険が適用されるが、それ以外は自由診療となる。ノロウ

イルスに感染していても陽性とならない場合もある。

とではありません。しかし、感染力が強いため、職場や家庭などでの集団感染の予防が重要です。

一方、ノロウイルスが体に入ってきたらといつても強烈な下痢だからといつても強烈な下痢止めはお勧めしません。ウイルスを体外に排出するのをやめれば治癒が遅れるからです。

入ってきたらといつても強烈な下痢止めはお勧めしません。ウイルスを体外に排出するのをやめれば治癒が遅れるからです。

私はノロウイルス対策で大切なことは集団感染の予防だと思います。寒くなり、風邪やインフルエンザも流行しています。どうか、手洗いやうがいを励行してください。トイレに行った後や調理や食事前に手洗いはしっかりと説明しています。

私がとどめます。寒くなり、風邪やインフルエンザも流行しています。どうか、手洗いやうがいを励行してください。トイレに行った後や調理や食事前に手洗いはしっかりと説明しています。

私はノロウイルス対策で大切なことは集団感染の予防だと思います。寒くなり、風邪やインフルエンザも流行しています。どうか、手洗いやうがいを励行してください。トイレに行った後や調理や食事前に手洗いはしっかりと説明しています。